

## 1. 協働による公開セミナーの実施(報告)

生涯学習教育研究センターでは、今年度より(社)日本損害保険協会とのコラボレーションによる公開セミナーを開始しました。これまでの公開セミナー(野村證券(株)との現在も実施している連携講座:「やさしいマネー講座」)とは開講方法を変えて、保険についての学習がよりよい活動へとつながりそうな組織や団体等へのアウトリーチセミナー(出前講座)としました。日本では、保険への関心がまだまだ個人レベルで顕在化していないだろうと考えたからです。そこで今回は、高松市コミュニティセンターの職員を対象とした研修会へ2回、高松市PTA連絡協議会の役員を対象とした研修へ1回、計3回の開催としました。



本セミナー開催のきっかけは、法学部の肥塚肇雄教授からの紹介によるものです。(社)日本損害保険協会四国支部では生涯学習を通じた企業の地域貢献を、香川大学との連携で行いたいとの意向があり、生涯学習教育研究センターとして検討してもらえないか、という打診でした。そこで事務局長の鈴木文明氏から趣旨についてうかがい、今年度に関しては試行的にアウトリーチの形式で行うことで合意ができ、実施に移したしいです。

公開セミナー「そんぼオープンセミナー」

開講日	テ - マ	講 師	連携機関・団体	受講者
9月18日	責任と補償の時代① -コミュニティ行事と責任-	鈴木文明* 清國祐二**	高松市生涯学習 センター	約50名
10月27日	PTA活動とリスク管理 -PTA行事とリスク-	鈴木文明 清國祐二	高松市PTA連絡 協議会	約60名
11月20日	責任と補償の時代② -災害とコミュニティセンター-	鈴木文明 清國祐二	高松市生涯学習 センター	約40名

\* (社)日本損害保険協会四国支部事務局長・講師

\*\* 生涯学習教育研究センター長・ファシリテーター

理不尽なことではありますが、ボランティアな活動であっても、何らかの事故が発生した場合、結果に対する責任がボランティアに負わされることがあります。万一に備えて保険に入っていたとしても、ケースによっては適応されない場合も出てきます。だからといって責任ばかり考えて、地域や団体の活動が衰退してしまえば、社会のつながりや活力を失うことにもつながりかねません。まずは、保険の基本的な考え方やメカニズムを正確に理解することが必要でしょうし、参加する側の責任を個々人にどう受け入れてもらえばよいか、改めて考えるきっかけとして欲しいところです。

今回のセミナーでは、保険に関する基本的理解をうながすとともに、自分自身のケースに当てはめることで実用的な学習となるよう編成しました。今回のような企業との連携によるオーダーメイドの出前講座は経験がなかったために、試行的なものとなりましたが、今後の新たな展開として一考の価値があるように感じました。学内で類似の取組などありましたら、情報をいただくと幸いです。

文責:清國祐二(センター長・教授)

## 2. 第31回全国国立大学生涯学習系センター研究協議会(報告)

10月22日(木)23日(金)の両日にわたり、第31回全国国立大学生涯学習系センター研究協議会(幹事校:岐阜大学)が開催され、本学からは山本珠美准教授が参加しました。文部科学省生涯学習政策局生涯学習推進課専門官・竹田和彦氏による「生涯学習振興施策の現状について」の講演ののち、2つの分科会にわかれて、センターにおける教職協働、および、公開講座の方向性について、意見交換を行いました。

## 3. 平成22年度公開講座の募集開始について

来年度の公開講座の募集を始めています。(ただし、開講できるのは原則香川大学の教員に限ります。)開講ご希望の方は、「平成22年度公開講座実施要領」をご一読の上、平成22年1月18日(月)までに、「計画書」一部をセンター事務局までご提出下さい。多くの方の意欲的な講座の提案をお待ちしております。

◆ 申込先: センター事務局 内線1273 syogse@ao.kagawa-u.ac.jp  
◆ 問合せ先: センター長 清國祐二 内線1272 kiyokuni@cc.kagawa-u.ac.jp

## 4. 『香川大学生涯学習教育研究センター研究報告第15号』投稿募集

当センターでは毎年度『香川大学生涯学習教育研究センター研究報告』を発行しております。生涯学習を研究する本学教員、センターが主催する講座等を担当した本学教員、また、センターが主催する講座等を担当した学外講師で編集委員会が認めた者であれば、どなたでも投稿することができます。

投稿ご希望の方は、所属、氏名、論文仮タイトルを平成21年12月25日(金)までにセンター事務局または下記担当教員までご連絡下さい。原稿締切は平成22年2月1日(月)です。

投稿規定等の詳細につきましては、下記問い合わせ先まで、ご連絡下さい。

多くの方のご投稿をお待ちしております。(掲載された論文は電子化を行い、公開されます。)

◆ 申込先: センター事務局 内線1273 syogse@ao.kagawa-u.ac.jp  
◆ 問合せ先: センター担当教員 山本珠美 内線1271 yamamoto@cc.kagawa-u.ac.jp

### <参考:第14号掲載論文>

生涯学習の推進を図るための参加型学習の方法論(3)	清國祐二(センター)
『三十年のあゆみ』補遺～高松高等商業学校における開放事業～	山本珠美(センター)
アンティゴネー像の解釈について	斉藤和也(経済学部)
『ロミオとジュリエット』における“passion”についての一考察	建畠正秋(学外講師)
『ファウスト』におけるオイフォーリオン悲劇について	中谷博幸(教育学部)
裁判員就職禁止事由に関する一考察	高倉良一(教育学部)

### センター雑感

先日、香川県内のある会合で200人を前に1時間ほどお話する機会がありました。このような機会は時々あるものではありますが、今回は特に聴衆の方々ニコニコ顔しながら話しを聞いて下さり、とても楽しく話すことができました。改めて、講座や授業では、「話し方」はもちろん、「聴き方」も重要と感じた次第です。(山本)

バックナンバーは下記のWebサイトに掲載されています。是非ご覧下さい。

Tel. 087-832-1273 Fax. 087-832-1275 URL. <http://www.kagawa-u.ac.jp/lifelong/> Email. syogse@ao.kagawa-u.ac.jp